

平成21年9月20日発行

第168号

発行/高円寺地域集会施設運営協議会
〒166-0011 杉並区梅里1-22-32
事務局 ☎3317-6614

セシオン杉並・和田区民集会所・高円寺北区民集会所

セシオン

高円寺地域区民センター報

ふれあい

http://koenjiunkyo.web.infoseek.co.jp

ふれあい音楽会

「魅惑のハワイアン」



9月26日(土) 13時30分～15時

《曲目》

南国の夜/ブルーハワイ/ビヨンド・ザ・リーフ/千の風になって/嘘は罪... (ほか)

会場: セシオン杉並 1階/談話コーナー 出演: ギブソンブルーアイランダーズ

★定員/100名★参加費/無料★当日直接会場へお越しください。

きたーきたー高円寺まつり 作品展示 出演 グループ募集!!

開催日時 平成21年11月28日(土) 午前10時～午後3時

場所 高円寺北区民集会所 杉並区高円寺北3-25-9

募集内容
・パネル(360cm×90cm) 5組
・机(180cm×135cm) 4組
・出演グループ 4～5組

申込みは...
①グループ名、代表者名、連絡先 (※日中連絡できる電話番号)
②展示作品、演目内容
③展示場所、パネル、机
*いづれかつを明記
④締切 平成21年10月10日(土) 必着
⑤往復はがきにてご応募下さい
*応募多数の場合は抽選となります。

応募・問合せ先
〒166-0011
杉並区梅里1-22-32
高円寺地域集会施設運営協議会
事務局
TEL 03(3317)6614

回																			
---	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

★高円寺地域集会施設運営協議会事務局 ☎3317-6614

体育部講演会

『夢をかたちに...今出来る事』

ボウリングを

生涯のスポーツに!!

日時 十月十一日(日)午後三時三十分～午後三時三十分

場所 高円寺地域区民センター(セシオン杉並) 三階 第八・九十集会室

定員 100名(応募者多数の場合抽選)

参加費 無料

講師 「並木恵美子氏」
女子プロボウラー1期生
プロ36勝(歴代3位)
4連勝



応募方法 往復はがきに講演会名、氏名、住所、電話番号、年齢を明記の上お申し込みください。(2名まで連記可)

締切 九月二十七日(日) 必着

問合せ先 高円寺地域集会施設 運営協議会事務局
電話 三三二七-六六四

高円寺界隈の今と昔

行き先 高円寺参詣 (曹洞宗 宿鳳山高円寺 三代将軍徳川家光) 氷川神社参拝(日本唯一気象神社) 座・高円寺見学 (舞台芸術の創造と発信基地)

日時 11月2日(月) 午後1時集合 午後3時30分終了予定

集合場所 JR高円寺駅 南口 噴水広場

対象 区内在住・在勤の方

定員 30名(応募者多数の場合は抽選)

参加費 200円(傷害保険料含)

行程 JR高円寺駅南口→氷川神社→高円寺→座・高円寺

申し込み 往復はがき(講座名、氏名、年齢、住所、電話番号)で10月24日(必着)高円寺地域集会施設 運営協議会 文化部へ

問合せ先 高円寺地域集会施設 運営協議会事務局
電話 三三二七-六六四

文化部講演会

『現代 葬送事情』



映画「おくりびと」で注目されるお葬式 自分の為、愛する人の為にこんなふうに逝きたい。生命の大切さを思い、いつか訪れる死を見つめるライフデザインを考えよう

講師 株式会社第一生命経済研究所 ライフデザイン研究本部 **小谷 みどり** (こたに みどり)氏

日時 11月21日(土) 午後1時30分～3時

場所 セシオン杉並 3階 第8・9・10 集会室

参加費 無料

応募方法 往復はがきに講演会名、氏名、住所、電話番号、年齢を明記の上お申し込みください(2名まで連記可)(定員100名) ●締切11月9日(月) 必着

自主グループ紹介

その③

尺八玉風会

*会の活動状況

玉風会は、平成4年に創立して、今まで一貫して琴古流外山玉風先生の薫陶を受けて、17年になります。先生は、故広門冷風に学び、その没後は横山勝也の直門となった逸材です。演奏や指揮は、民謡、歌謡曲、地唄、古典や現代の本曲・外曲にわたり、あらゆる分野に通暁しています。

はじめは一斉指導の合奏形式をとりましたが、ただ楽しい時間を過ごすだけでなく、一人ひとりが独奏できる実力を身に付けるために、個人指導に切り替えてからすでに年久しくなりました。個人指導ですから会員は全くの初心者から舞台での尺八伴奏二十年を超えるベテランにわたります。現在会員は、定員いっぱい10名の中には女性が一人頑張っています。空気を待っている入会希望者も待機しています。

尺八は腹式呼吸が肝心です。吸って吐く、吐く、吐く、吐く、この上ない健康法なのです。そして、この東洋的な無の音の世界に心を遊ばせましょう。



尺八玉風会練習風景

*講師：外山 玉風

*代表者：岡 泉

*連絡先：03(5932)4845

*場所：セシオン杉並、第2音楽室

*練習日：第1・第3火曜日、

午前10時～13時

*会費：3,500円/月、

入会金1,000円

益子月曜会

*会の活動状況

平成5年セシオンの運協主催・益子陶芸教室の受講生で、同年5月自主グループを結成、スタート。年1回の



セシオンまつりの作品展示風景

セシオンまつりには、作品を展示発表、昨年11月にはセシオン全館で行われた「健康都市杉並フアロ08」のイベントのお抹茶コーナーに先方の依頼で、新たに作製した抹茶茶碗を提供し、好評を得ました。

*講師：斎藤 由紀先生

西多摩郡松原村に在住、

益子焼の作陶活躍中

*補佐：鈴木 淳久先生

*代表者：小池 金市朗

*連絡先：03(3312)3480

*場所：セシオン杉並、

地下1階 工芸室

*練習日：月2回、原則として

第1・第3月曜日午後

*会費：12,000円/3ヶ月

萩の会

*会の活動状況

表千家茶道「萩の会」は発足して20年になります。当初は割り稽古から始めました。今では季節に合わせたお点前をしています。人数は7名と少ないのですが、それだけに心が一つになり、月2回のお稽古の1回目は先生のご指導の下、お手前をし、2回目は自習をして「同和気あいあいのお稽古を楽しんでいます。」

茶道は奥が深く幅が広いので学ぶことが沢山ありますが、前向きに生活に生かし、自分に磨きをかけていきたいと考えています。

もう少し仲間が増えると良いと思います。

*講師：表千家 神津宗紀先生

*代表者：山田 和子

*連絡先：03(5938)7558

*場所：主にセシオン杉並

*練習日：月2回、

第1・第3金曜日午後

*会費：2,500円/月

次号169号
11月20日
発行予定

あんなとこ、こんなところ 地域の身近な 歴史スポット ②②

不思議な三角地

寺田 史朗

私たちが朝な夕なにしているまちの風景は、何の変哲もない、日常の景色です。TVの散歩番組で見る町の風景には、何か心をくすぐられる魅惑が潜んでいます。日々見かけるまちの片隅にも、こんなエピソードが眠っていることを考えたことはありませんか。

区民センターから環七を越えた東側に、蚕糸の森公園があります。公園の正面入口のレトロな鉄門の前、青梅街道を挟んだ反対側に交番があることは、皆さんもご存知のことと思います。その脇に北西へと向かう小さな脇道のあることは皆さんご存知でしょうか？青梅街道から別れて直ぐに環七にぶつかってしまふ、環七と青梅街道とで意味不明な三角地帯を生み出している小道です。



正面 環七、左 庚申塔

この三角地帯の西側、環七に面して庚申塔が祀られています。まるで環七を通る車の日々の安全を祈っているかのように、全然違和感のない景色として打ち解けています。

ところで、この庚申塔について、以前「ふれあい」(五二号(平成十九年一月)で原田弘さんが次のように触れられています。その説明によれば、この場所はもと「庚申様の原」と呼ばれていて、この原の「北隅にはケヤキの大木があり、その根本には庚申堂があり、いつもお花がありました。今この複数の庚申塔は環七の東側に移されています。」とあります。

つまり、この庚申塔はもともとこの場所にあったのではなく、現在では意味不明な小道となってしまう道に面して建てたのだそうです。環七は別名オリンピック道路ともいわれるように、昭和三十九年に行われた東京オリンピックの時に開通した道路

です。その時、この庚申塔もこの場所に移されたのでしょう。

現在では環七に遮られて謎の三角地帯を作っているこの小道も、それ以前はさらに西に続いていて、道としての機能を発揮していたのです。それは、現在でもその延長上を地蔵でたどって行くことでも確認できます。

江戸時代の様子を伝えていると考えられる明治初年に作られた地形図をたどってみると、この道は現在の道筋と大きくは異なっておらず、江戸時代からのルートを示しているようです。

ところでこの道はどうしてこんなに青梅街道と鋭角に交差しているのでしょうか。まるで江戸からのマレピトを案内するようになっています。

それを裏付けるかのように、江戸時代後期の文政九年(一八三三)に、徳川御三郷の一清水家に仕えた武士の村尾正靖が、江戸から郊外の神社への参拝をした時の紀行文を記しています。その中に次のような記述があります。

「堀の内村妙法寺へ行べき道の所より」 「少しばかりゆけば、又石の勝示(ほうじ)あり、阿佐谷神明道と云り付、そより右に曲りて、みちの左右櫓の木たてる中を、行事(ゆくこと)しばらくして、打ひらけたる田ある所に出、」 「猶行は、左右萩、す、き生たる中、はちの紅葉、折しるいろをあらそひ、

寺田 史朗 氏 杉並区教育委員会 文化財係長